

教科	国語科	学年	第3学年	担当者	山本 和椰
----	-----	----	------	-----	-------

[教科目標]

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
--

[使用教科書・教材等]

・国語3（光村図書）	・ワーク	・文法ワーク	・中学書写1・2・3年（東京書籍）	・ノート	・習字道具	・漢字ワーク
------------	------	--------	-------------------	------	-------	--------

[学習計画]

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1学期	1、深まる学びへ 世界はうつくしいと（詩） 握手（小説） 学びて時にこれを習ふ（漢文・解説） 文章の種類を選んで書こう	・登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 ・人間の生き方について孔子の考え方を自分たちと関連づけて考える。 ・取材した内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク 文法ワーク
	2、視野を広げて 作られた「物語」を超えて（論説） 説得力のある構成を考えよう（スピーチ）	・論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。 ・社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成を工夫する。	
	3、言葉とともに 俳句の可能性（俳句・解説） 俳句を味わう（俳句）	・内容や表現のしかたに着目して、俳句を評価しながら読み深める。 ・それぞれの俳句に表現されている季節や情景、作者の思いなどを捉え、朗読する。	
2学期	4、状況の中で 挨拶―原爆の写真によせて―（詩） 故郷（小説） 聞き上手になろう 論理の展開を整える（推敲） 慣用句・ことわざ・故事成語（言葉）	・表現に着目し、人間や社会について考える。 ・小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ・相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話を聞き出す。 ・論理の展開や内容に関わる点に着目して、文章を整える。	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク 文法ワーク 習字道具 習字の教科書
	5、自らの考えを 人工知能との未来（論説） 多角的に分析して書こう（論説） 合意形成に向けて話し合おう 初恋	・人間と人工知能との関わりについて述べた二つの文章を読み、自分の考えをまとめよう。 ・文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ。 ・立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。	
3学期	6、いにしえの心を受け継ぐ 古今和歌集 仮名序（古文） 君待つと一万葉・古今・新古今（古文） 夏草―「奥のほそ道」から（古文）	・繰り返し声に出して読み、古文の言葉の響きを味わおう。 ・作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。 ・文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。	
	7、価値を生み出す 誰かの代わりに（論説） 情報を読み取って文章を書こう	・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 ・論理展開などについて推敲したり助言したりして、よりよい文章にする。	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク 文法ワーク
3学期	8、未来へ向かって 温かいスープ（随筆） わたしを束ねないで（詩） 三年間の歩みを振り返ろう（まとめ）	・文章を読み、国際社会における人と人との関係について、考えを深めよう。 ・詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉え、自分の可能性について考えてみよう。 ・場の状況によって言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。	

[評価の観点と評価の方法]（通知表のつけ方）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	漢字や語句の意味、文法を理解するなど社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。	言葉がもつ価値に気づこうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしているか。また、粘り強く課題解決に向けて学習に励んでいるか。
評価の方法	・単元テスト・ワークシート・小テスト・書写 など	・単元テスト・小テスト・ワークシート ・パフォーマンス課題・作文、論文 ・振り返りシート など	・行動観察・単元テスト・小テスト ・振り返りシート・ワークシート ・パフォーマンス課題 など

[授業の受け方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

・教科書をよく読みましょう。繰り返し読んで、しっかり自分の考えや感想を持つことが大切です。 ・教科書以外の本もたくさん読みましょう。分からない言葉に出会ったら辞書で調べ、語彙力を高めましょう。 ・授業は受け身ではなく、主体的に取り組みましょう。先生が投げかけた発問についてしっかり考え、自分の答えを持とう。 ・自分の意見や考えを、しっかり言葉にし、相手に伝えるようにしましょう。相手の意見も聞き、そこからさらに考えを深めよう・ノートは大切なことをメモしたり、自分の考えを書くことに使い、学習したことを見直せるようにしておきましょう。 ・ワークは計画的に取り組み、自分の学習に役立てよう。 ・文法は、積極的に問題を解き、自分の理解を確認し、理解を深めていこう。 ・漢字練習はただ書くだけでなく、音読み・訓読み・部首・熟語なども合わせて覚えよう。 ・課題には粘り強く取り組み、何度も考えたり、文章を推敲したりしてよりよいものになるようチャレンジしよう。

[家庭学習の進め方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

・予習では、音読・語句調べ・漢字の反復練習などを行いましょう。 ・復習では、音読・問題を解く（ワーク）・学習したことをまとめてみるなどを行いましょう。 ・宿題が出たら必ずやりましょう。（わからないときはそのままにせず、先生や友達に聞いたり辞書を活用したりして、工夫して解決しましょう。） ・国語力は授業だけで身につくものではありません。日常的にさまざまなところで学習する機会があります。新聞を読む、本を読むなどもその大切な機会です。活字を親しみ、国語力をアップさせましょう。 ・自己表現力も大切です。いろいろな場で自分の意見を積極的に発表し、表現力を高めましょう。
--